

授業科目

家族関係論

担当教員名 寺田 貴美代	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

少子高齢化が進展する中で、家族は大きく変化し、さまざまな課題に直面している。そこで、さまざまな現代家族のあり方について学ぶとともに、自らの育った家族を振り返り、それが多様な家族の中の一形態であることを認識する。そして、福祉社会の動向を把握し、支援を必要とするさまざまな家族について社会福祉とのかかわりから考える。

授業の目的

現代における家族関係の多様な様態や関連する諸問題を、社会福祉との関わりから理解する。また、この授業は1年生前期に位置づけられていることから、今後、より深く専門科目を学ぶための基礎となる知識や考え方を身につける。さらに、現代社会における課題を認識する力を養うことを目指す。

学習目標

1. 現代家族の多様な様態や直面する諸問題について認識する
2. 社会福祉との関わりから家族関係を理解する
3. 家族に関する社会福祉の専門的な知識に根差した思考や判断力を身につける
4. 福祉社会の動向に関心を持ち、現代社会における家族の課題をとらえる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	シラバスの確認・授業概要・家族関係論を学ぶ意義	講義	寺田 貴美代
2	家族に関する基礎1：家族および人口、世帯に関する基礎知識を学ぶ	講義	寺田 貴美代
3	家族に関する基礎2：個人と家族との関係を考える	講義	寺田 貴美代
4	夫婦と家族1：結婚や夫婦のライフスタイルから家族について考える	講義	寺田 貴美代
5	夫婦と家族2：多様なパートナーシップから家族について考える	講義	
6	夫婦と家族3：ドメスティック・バイオレンスの問題について考える	講義	寺田 貴美代
7	子どもと家族1：少子化や親子関係など子どもをめぐる問題から家族について考える	講義	寺田 貴美代
8	子どもと家族2：児童虐待の問題から家族について考える	講義	寺田 貴美代
9	子どもと家族3：子どもの貧困問題から家族について考える	講義	寺田 貴美代
10	自殺対策と家族：社会問題としての自殺対策から、家族や周囲の人々および社会的取り組みについて考える	講義	寺田 貴美代
11	高齢者と家族1：高齢者の生活から家族について考える	講義	寺田 貴美代
12	高齢者と家族2：高齢化や高齢者介護から家族について考える	講義	寺田 貴美代
13	高齢者と家族3：高齢者虐待の問題から家族について考える	講義	寺田 貴美代
14	授業の総括1：授業のポイントを復習し、総括する	講義	寺田 貴美代
15	授業の総括2：授業のポイントを復習し、総括する	講義	寺田 貴美代

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に使用しません。毎回、プリントを配布するため、この授業専用のファイルを1冊用意してください。					
参考書	『問いからはじめる家族社会学』	岩間暁子ほか	有斐閣	2015年		購入の必要はありません。
	『データで読む平成期の家族問題』	湯沢雍彦	朝日新聞出	2014年		購入の必要はありません。
	『ライフコースとジェンダーで読む家族』	岩上真珠	有斐閣	2013年		購入の必要はありません。
その他の資料						

評価方法

レポートと、授業中の課題によって評価します。レポートは授業のテーマに関連した論述課題により、講義内容の理解度を問うとともに、授業内容を踏まえて受講者が考えたことを記述する形式です。課題は、授業内で提出を求める小レポート（ワークシート）の提出内容および、毎回の授業後に行う振り返りシートによる評価です。

履修上の留意点

第1回目の授業において講義の概要や受講方法を説明します。履修希望者は必ず出席してください。また、授業を通して関心を持ったテーマについては、書籍等の文献資料で積極的に情報収集を行い、テーマを深く掘り下げてほしいと思います。

オフィスアワー・連絡先

前期 木曜日 12時30分～14時30分

後期 木曜日 12時30分～14時30分

場所：E315研究室

E-mail : terada@nuhw.ac.jp

※メール送付の際は、タイトルと本文の両方に、学籍番号と名前を必ず記載してください。